

福島県看護連盟だより

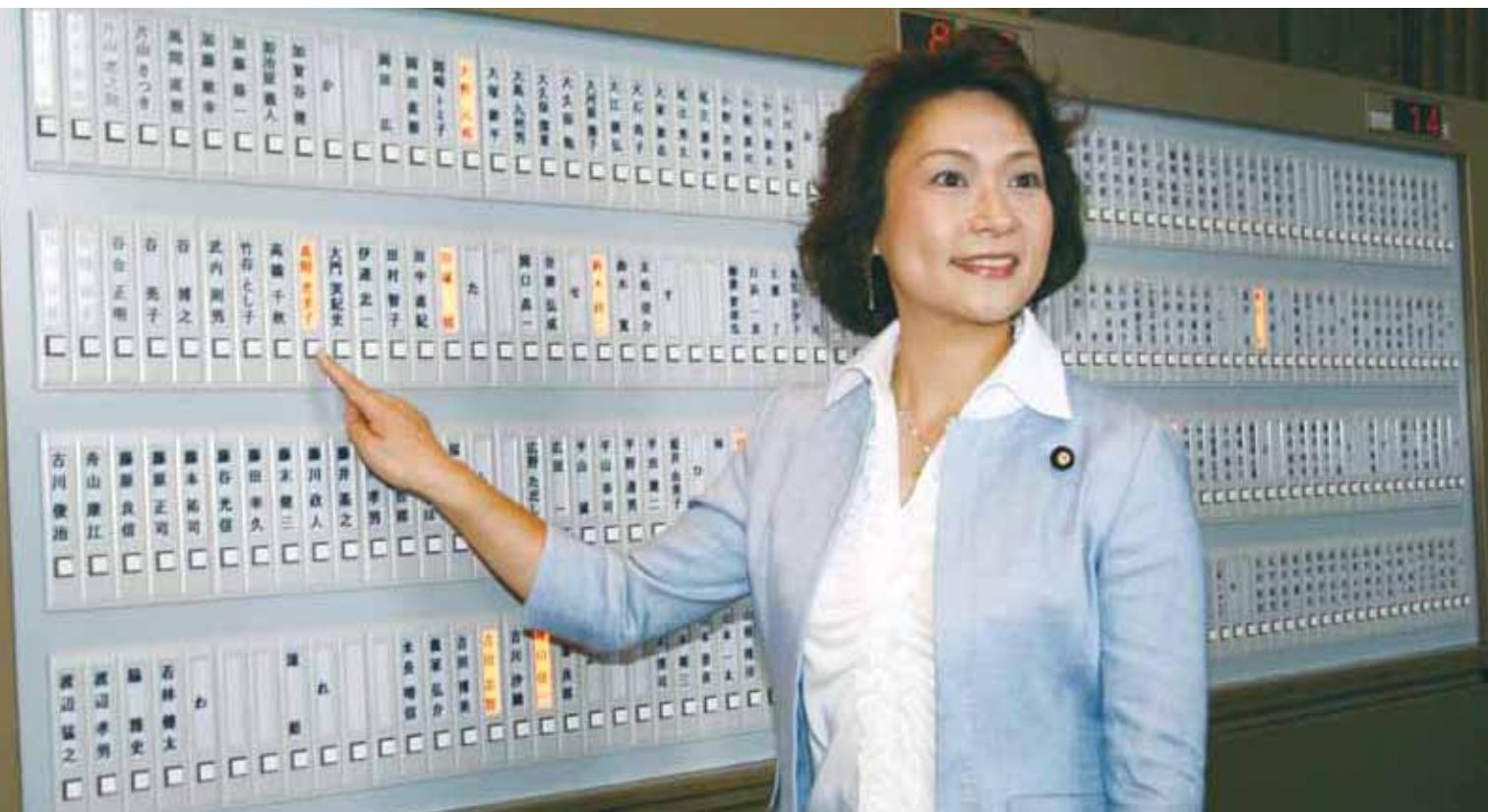
第19号
平成22年9月発行

ふくしま

F U K U S H I M A

発行所／福島県看護連盟
郡山市本町1丁目19番8号 生天目ビル1階
TEL(024) 973-8819
発行責任者 笹原和子

たかがい恵美子当選!! 平成22年度通常総会報告



高階恵美子議員、初登院

目次

contents

●会長挨拶 ～選挙を終えて～	P2
●たかがい恵美子当選のあいさつ	P2
●第22回参議院議員選挙を振り返って ～必ず国政に送るという思いを～	P3
●たかがい恵美子さん当選のよろこび	P4～P5
●平成22年度通常総会報告	P6
●たかがい恵美子ジャンプ開催報告	P7
●総会特別講演	P7
●平成22年度 研修計画	P8
●看護関連ニュース ●あおぞら	P8
●編集後記	P8

看護の心を、みんなの心に



ハートを擦ると
チョコレートの香りがします。

■会長挨拶 ~選挙を終えて~

福島県看護連盟
会長 笹原和子



この度、第22回参議院選挙では、たかがい恵美子さんが見事に当選いたしました。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

厳しい戦いでありましたが、皆様の力で圧勝に導いていただきましたことに深く感謝申し上げます。当選と言う目的が達成できたことは、これまでの労を忘れてしまうほど感激が大きく、皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

平成21年8月の総選挙で本格的な政権交代があり、看護連盟にとりましても大きな問題に直面しました。しかし、看護職能団体としてぶれることなく看護界の代表としてたかがい恵美子さんを必ず国政に送るという方針が示されました。厳しい世論の中で、看護団体は力があることを社会に示すチャンスでもあると、積極的に活動を展開してまいりました。

たかがい恵美子ホップ・ステップ・ジャンプは、看護職の熱意と真面目さが功を奏して、県会議員も驚くほどの組織力を発揮しました。また、青年部委員の活動、たかがい応援ブログやネットの活用が、新しい取り組みとして実施されたことも大きな成果に結びついたものと思います。

なお、この度の活動には、国会議員、地方議員、自民党県連の皆様の絶大なるご支援ご協力がありました。このことは日頃より、看護連盟と議員の交流や連携によるものであり、双方の信頼関係の構築が大切であることを認識致しました。7月11日の記念すべき開票結果は、全国で21万443票を獲得し当選者の中で13番目と上位になりました。看護界一丸となって活動した結果であると思います。

福島県では9,024票を獲得し、県内の自民党候補者の中では1位でした。全国では2番目に高い得票数です。これも役員、支部長、青年部委員の強力な連携と今までにない自立した行動の結果であると思います。

今後は南野知恵子先生の後継者として、知性とパワーのあるたかがい恵美子さんの活躍が大いに期待できると思います。看護界は、保助看法改正、働きやすい職場環境の改善、看護の基礎教育の充実など、課題が山積しております。

これらの問題解決は、制度改正なくしては困難であり、そのためにもたかがい恵美子さんの今後の活躍を期待したいと思います。

おわりに、この度の参議院選挙にご支援ご協力をいただいた皆様への感謝とますますのご活躍をご期待申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

第22回参議院比例代表選挙に初当選!

皆様から**210,443票**という大きな宝物を頂き、当選させていただきました。

今、新たなスタート地点にやっと立つことができました。

仕事にやりがいを、生活に生きがいをもてる大事な未来の社会保障のしくみをしっかりとつくるために一生懸命働かせて頂きます。

たかがい恵美子



第22回参議院議員選挙を振り返って

～必ず国政に送るという思いを～

幹事長 本内 敦子

この度の参議院選挙では、たかがい恵美子さんが上位当選を果たすことができ、非常にこの上ない喜びを感じております。県内の看護職はじめ多くの皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、振り返りますと平成21年5月20日に日本看護協会通常総会が新潟県朱鷺メッセ展示ホールで開催され、第22回参議院選挙の候補者としてたかがい恵美子さんの紹介がありました。感動的な出会いで始まりました。

その後、平成21年度福島県看護連盟通常総会では、看護協会会員×2人の投票数を目標にして活動することが決定しました。さっそく翌月より、本部の方針の下に「たかがい恵美子ホップ・ステップ・ジャンプ」活動がスタートいたしました。

ところが、8月の衆議院選挙で政権交代という思わぬ事態となり、看護連盟にとっても新たな対応に迫られることとなりました。しかし、日本看護連盟清水会長より「看護の政治力を維持するためにも今こそ、圧倒的な票でたかがい恵美子さんを当選させよう」という声明文が出されました。そこで福島県看護連盟は、ぶれることなくたかがい恵美子さんの当選を果たすために、これまでの活動にさらなる力を入れて取り組むことにしました。幸い福島県は看護協会との連携が友好的・協力的な関係であり、「たかがい恵美子と未来を作る会」として活動することになりました。

はじめに、基礎研修や施設訪問の実施で、看護職に政治の必要性を理解していただくことやたかがい恵美子さんの知名度を高めることにいたしました。さらに、「たかがい恵美子と未来を創る会」の入会者を募る後援会活動が積極的に開始されました。入会名簿は、はじめに会員を中心に集めましたが、思いのほか容易に集まらず、親戚、知人、友人、O B、各議員の後援者等への働きかけにより最終的には堅い名簿として32,376人集まりました。

たかがい恵美子ステップは、福島県で4回開催されホップを含めて10日間、たかがい恵美子さんを各地区でお迎えすることができました。たかがい恵美子さんにお会いしたほとんどの方が、たかがい恵美子さんを賞賛し、応援してくださいました。

さらにこの度の活動では今までになく県議会議員や市町村議員の協力が得られ、雨に濡れながらの街頭演説や選挙カーによる遊説を実施しました。一般の人々には知名度が低いため、このようなPR活動は大変効果的であったと考えられます。

また、青年部委員が企画運営した福島県ポリナビワークショップは、若手会員に看護連盟の役割や、看護と政治の重要性を理解していただくよい機会となりました。さらに今後ますます青年部委員の役割拡大と支部青年部委員との連携を深めていく必要があります。

そしてなによりも県内地区毎に看護連盟役員・支部長、支部役員等が毎月定期的に会合を持ち、連盟本部や県連盟の指示や情報に沿って積極的な取り組みができました。たかがい恵美子さんを看護の代表として必ず国政に送るという強い思いが、看護界一丸となって活動することにつながりました。その結果、たかがい恵美子さんの氏名票が、福島県は9,024票で全国2位、比例区個人得票は210,443票で13位となりました。選挙日は一日中、不安と期待の交錯する中で、開票直後の当選確実の放映は、一変して大きな喜びと感動に包まれました。そして支援してくださった全ての人に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからたかがい恵美子さんは新人議員として私達の期待をいっぱい背負って、ご活躍なさることでしょう。皆さんと一緒に「看護の代表、たかがい恵美子さんがんばって！」と大きなエールを送り続けたいと思います。

たかがい恵美子さん当選のよろこび

福島第5支部長 大内喜美代

「第22回参議院議員選挙」において、たかがいさんはすばらしい投票数で当選されました。福島支部(1~6支部)の会員の皆様、ご支援いただきました多くの後援会の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。私たちにとって、選挙は政権交代という大変厳しい環境下に置かれましたが、今思えば、そのことにより私たち会員の意思統一が図られたことは事実。



看護連盟活動=踊る大捜査線。キーワードは*現場*昨年より今年の5月まで毎月、会場をお借りしての合同基礎研修。その後の役員・支部長合同会議。会員と常に結びつきを持ち、目標に向けて「ぶれず」に進んできました。高齢さんを迎えてのホップ・ステップ・ジャンプ、特にジャンプは400名以上の参加を頂き、外気温もさることなく、会場の熱気で音響もヒートアップ(冷や汗)。しかし「これならいいける!!」と手ごたえを実感いたしました。7月11日の開票速報の時間帯、やはり私は看護の現場に居ました。喜びの第一報は施設連絡員の土田師長さんからの電話「当選しましたね。支部長さんおめでとうございます」でした。今回の結果は、私たち看護職にとって誇りさえ感じさせてくれました。ここからが現場重視の看護連盟活動の始まりです。堂々と活動してまいりましょう。

郡山第3支部長 遠藤利子

たかがいさん当選おめでとう。
私達は「楽しく・豊かに・堂々と暮らせる日本」をめざし、青年部も管理者もなくたかがいさんを応援して参りました。素敵なお話を手話に変えたのもそういった気持ちからです。



たかがいさん自身、全国を駆け巡り、弁当の日々、慣れない人との会食、手ごたえの分からない毎日、不安との戦いだったと思います。

その成果としての当選、一生懸命やれば結果が伴うことを肌で感じました。
野党としてこれからは、茨の道かもしれません。でも当選したのですから、やりたいこと・やるべきことを焦らず一歩一歩進めて頂きたいと思います。私達はずっと応援し見守っていきます。

須賀川支部長 鈴木良一



当選おめでとうございます。この日をどれだけ多くのみなさんが待ちわびていたことでしょうか。7月11日。忘れられない1日となりました。当日の夜は選挙速報を見るために、すべての用事を済ませテレビの前でドキドキしながら待っていました。すると放映がはじまってすぐに当確が流され、一瞬の出来事で「もしや間違いでは?」と、あちこちの番組を確認し、結局たかがいさんの当選を実感できたのは0時を過ぎた頃でした(笑)。今回一番感じた事は、勝つためには立候補する人と支援者が一体となって選挙活動を行い、有権者にその姿を見せ共鳴してもらうことです。たかがいさん、いつも私たちと共に鳴り合い、現場の声を国政へ届けてください。

会津第4支部長 板橋ケイ子



「たかがい恵美子さん、当選おめでとうございます。万歳!」
7月11日、開票速報の吉報は、開票まもなく8時05分頃でした。こんなに早く当確となるとは、信じられませんでしたので、嬉しくて喜びの電話を掛け捲りました。開けてみると、新人で21万票を獲得という快挙に驚きました。厳しい現状の中でも「ぶれることなく」、必ずや当選させなければならない、となりふり構わず、必死に活動して來たので、最高の感動でした。悲願達成です。皆さんも同感ではないでしょうか。

看護職の代表として、たかがい恵美子さんの、今後の活躍を大いに期待し、応援を続けて参ります。頑張りましょう。

双葉支部長 賀 村 恵 子

このたびの参議院選挙で、看護連盟推薦の、たかがい恵美子さんが初当選し、心から喜んでおります。7月11日の夜、職場のスタッフから「当選確実」の連絡を受けた時はあまりの早さに耳を疑い、それまでの苦労がどこかに吹っ飛んでしまいました。

私たちは、たかがいさんの応援のために、「みらいを創る会」の名簿集めなど東奔西走し、声をかけてきました。野党である自民党の公認候補ということで、諸手を挙げて賛成する人ばかりではありませんでしたが、たかがいさんを看護師の代表として国会に送ることに対しては、多くの方々から暖かい言葉をかけて頂き、大変うれしく思いました。

これからも看護の未来のために、しっかり現場の声に耳を傾け、「ベッドサイドから政治を変える」ことができるよう、活動を継続していくことが大切だと実感しました。

今後のたかがいさんの御活躍に期待しています。



いわき第1支部長 斎 藤 光 子

たかがい恵美子さん当選おめでとうございます。そして、日本看護連盟バンザイ。看護連盟の力が実った記念すべき年となりました。

本部よりの指令に基づき、「これでいいか、悔いはないか、自分に問いかけよう」のかけ声を常に心がけ皆さんに働きかけてきました。看護連盟会員一人ひとりが意識を高め、信じることを忘れず、心がぶれる事なく結束を強め最後まで諦めず行動を起こした結果、すばらしい喜びとなりました。看護職者が結束すると大きな結果を出せるということが実現できました。皆さん、本当に良かったですね。この度の選挙において、支部長として皆さんと一緒に行動してきたことが、私の貴重な体験となり、感謝しております。本当にありがとうございました。



しゃくなげ支部長 福 田 玲 子

7月11日参議院選挙開票早々に看護職OB会員から電話が入った。「たかがいさん当確でました。」と弾んだ声。NHKテレビを食い入るように見ていた私は驚きとうれしさで飛び上がらんばかりでした。

当しゃくなげ支部は、県内のOB、賛助会員70人からなり県内5地区に役員を配置しております。今回はたかがい恵美子さんを何がなんでも国政に送るという笹原会長の士気や、担当地区OB会員等にたかがいさんを知ってもらうため、地区役員が担当地区の支部長達と連携を密にし必死で奔走しました。真からやれば結果が出る。OB会員の力量は見事でした。

高階恵美子議員おめでとうございます。共に議員バッジをいただいた思いがします。持ち前のバイタリティーで看護職のもつ知識と技術を社会に伝え、国民が安寧に暮らせる社会をつくっていただきたい。



平成22年度 福島県看護連盟通常総会報告



期日 平成22年6月20日(日)
14:00~16:30

会場 JA郡山市会館

出席 432名



去る6月20日に通常総会が、たかがい恵美子ジャンプ開催と同時にJA郡山市会館で開催されました。例年よりも参加者がかなり多く432名でした。来賓として自由民主党県連会長の吉野正芳衆議院議員、南野知恵子参議院議員、岩城光英参議院議員、西山郁子福島県看護協会長をお迎えし盛大に開催することができました。

開会式は、 笹原会長の挨拶で始まりました。「南野知恵子参議院議員が7月で勇退なさるため、後任としてたかがい恵美子さんを是非当選させなければならない。そのため来る7月11日の参議院選挙に向けて積極的に活動しなければならない。過酷な看護の現場を変えるために看護の専門家を国政に送ることが大事である。新人教育が努力義務化されたことなど、政治の力を借りなければ看護の発展につなぐことは難しい。」と 笹原会長の熱い思いが伝わりました。つづいて来賓の皆様からは、「南野先生が国政の中で築いてきた看護への道を閉ざしてはならない。是非後継者を国政に送っていただきたい。」と心強いご挨拶をいただきました。



開会式終了後、平成21年度の経過報告、事業計画等全て承認され、平成22年度の事業計画は、「たかがい恵美子さんを必ず国政に送る」ことが目標に掲げられ、その活動や研修会等が全員一致で可決されました。

なお、総会の閉会直前に、森まさ子参議院議員が会場に駆け付けてくださいり、たかがい恵美子さんへの心強い応援メッセージをいただきました。

その後、南野知恵子参議院議員を講師として「今なぜ、国政に看護の代表を送るのか」をテーマに講演をいただきました。選挙を間近にひかえ、たかがい恵美子さんを国政に送らなければならないという意識が高められました。会場は参加者の熱気と室内温度の上昇で、活気あふれる雰囲気の中で終了致しました。

幹事長 本内敦子



たかがい恵美子ジャンプ開催報告



期日 平成22年6月20日(日)
16:45~17:50
会場 JA郡山市会館
出席 438名

福島県看護連盟通常総会に引き続き、438名の出席のもと「たかがい恵美子ジャンプ」が開催された。南野知恵子議員をはじめとする来賓の方々の見守る中、たかがい恵美子さん本人の決意にあふれたスピーチと、演奏が流れないアクションを跳ね返す生歌が披露された。参加者からも、歌に合わせた手話、力強い応援太鼓演奏、青年部によるさわやかな応援コールが繰り返し飛び出した。自分たちの代表を国政に必ず送り出そうという参加者一人一人の思いが溢れ、会場が最高潮の盛り上がりを見せるとともに、会場の雰囲気にも負けじと、たかがい恵美子さん自身がサッカーボールをシュートするサプライズも飛び出した。開催当日の暑い気候にも負けないほど会場全体が大いに盛り上がりを見せ、投票日までの更なる応援への励ましとなったジャンプであった。



特 別 講 演

テーマ 「なぜ、国政に看護の代表を送るのか」

講師 参議院議員 南野知恵子

南野知恵子先生の言葉は、私たちの代表として3期18年間の国会議員生活を送られてきた方だからこそ私たちの心に響くものであった。「看護職は一致団結し今後も国会へ代表者を送り続けなければならない。なぜなら、看護職の代表を国会に送らなければ成立させられない法案があり、看護の問題を解決していく道が閉ざされてしまうからである。」ということが経験をもって語られ、是非とも南野知恵子先生の後を継ぐ人物を当選させなければならないということが、参加者全体に改めて伝わった熱の入った講演となった。



平成22年度 研修計画

男性看護師研修会

講師 日本看護連盟幹事長 石田昌宏
日時 平成22年10月16日(土) 9:30~12:00
会場 福島テルサ3Fあぶくま

看護教育者セミナー

講師 日本看護連盟常任幹事 竹澤良子
日時 平成22年11月20日(土) 10:00~12:00
会場 郡山ピッグアイ第3会議室

看護関連ニュース

看護師の基礎教育「大学」主流へ・新人臨床研修が制度化され、2010年4月施行開始となりました

「保健師助産師看護師法および看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部を改正する法律案」が、第171回通常国会の参議院本会議で7月1日、衆議院本会議で7月9日全会一致で可決されました。同法は2010年4月より施行されています。

地域医療を守り、国民に良質な医療看護を提供していくためには、医師のみならず、看護師をはじめとする看護職員が、チーム医療を担う重要な一員としてその専門性を發揮することが極めて重要であり、その資質及び能力のいっそうの向上や、看護職をいっそう魅力ある専門職とするための看護職員の確保も求められます。

保健師助産師看護師法に、「保健師、助産師、看護師及び、准看護師は免許を受けた後も、臨床研修その他の研修を受け、その資質の向上に努めなければならないこと」が明記されました。また「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において【病院等※の開設者等の責務】として新人看護職員に対する臨床研修その他の研修を受けるための配慮を行なうよう努めなければならないこと。【看護職員の責務】として、免許取得後も研修を受けるなど自ら進んで能力の開発・向上に努めることが明記されました。

※病院等には、病院・診療所・助産所・介護老人保健施設・指定訪問看護事業者が含まれる

—平成21年協会ニュース7月号から—

会員の窓

あ
お
ぞ
ら

連盟事務所移転

A O Z O R A



〒963-8871

郡山市本町1丁目19番8号生天目ビル1階
TEL (024)973-8819 FAX (024)973-8829



編集後記

第22回参議院選挙では、皆様の力で無事たかがい恵美子さんを国政へ送り出すことが出来ました。

連盟事務所も郡山へ移転となり、更に看護と政治についてわかりやすい広報誌作りを行っていきます。

広報委員メンバー

副会長	服部	子子
幹事	井田	公美
委員	内木	治京
委員	鈴谷	ひとす
委員	大鈴	美が
委員	深	

